

平昌2018

ST・齋藤 仁美



好調を維持しながら「最高の状態で夢の舞台に立ちたい」と話す齋藤仁美(中央)

夢舞台で輝け

日本選手団も現地入りし、いよいよ平昌冬季五輪が9日に開幕する。県勢の注目選手は、スピードスケート・ショートトラック競技の齋藤仁美(オーエンス)、慧(神奈川大)きょうだ

い。スノーボード・ハーフパイプ競技からは戸塚優斗(ヨネックス、光明相模原高)が出場する。それぞれ初の晴れ舞台で、誇りを胸にメダル獲得へ挑む。(織田 匠)

メダルに挑む県内勢

昨年12月の五輪代表最終選考会を兼ねた全日本選手権。齋藤仁美、慧はそれぞれ代表入りを決め、夢に見た大舞台への切符を手に入れた。

同選手権の女子1000メートルを制して総合3位に食い込んだ仁美は、この種目の選考3大会でランキングトップ。慧は同選手権こそ総合4位と振るわないが、それが今後の選考レースで安定した成績を積み重ね、滑り込みの一番手代表入りした。

ショートトラック界の「齋藤きょうだい」。長女の仁美をはじめ、長男・悠(フオーカスシステムズ)、次男・慧、三男・駿(麻溝台高)が競技に打ち込む。

仁美にとって、平昌への道程は決して平坦ではなかった。4年前のソチ五輪代表選考会では次点の6番手で失意を味わった。しかし、「試合後に『やりきった』ではなく、五輪には絶対に行けるんだという強い気持ちが残っていた」と再びいばらの道を歩んできた。

この1年は足元を見つめ直して基礎的な滑走姿勢を反復練習し、フォーム固めを徹底してきた。その成果がワールドカップ(W杯)での好結果にもつなが

認め合うきょうだい

感謝を示し戦う

昨年は約半年間、多くのメダリストを輩出している韓国へ武者修行に赴いた。技術面のみならず、現地のリンクの氷の特性も体に染み込ませ、本番へ自信を深める。

慧は、現役の神奈川大生として初の冬季五輪代表となった。時速40キロを超える世界で、数秒単位のフォーム修正を欠かさない。これまでには格上の選手に気後れすることもあったが、誰かがレースを動かすのではなく、自分が主体となって動かすという駆け引きも成長。男子5000メートルで出場の可能性があり、「出れば、チームジャパンがメダルを取れるよう全力を尽くす」と誓う。

栄光も挫折も、普段は互いに語り合っているが仁美は初めて代表のユニフォームを着た。慧は「弟に引張られてきた。慧は『姉は自由人』というか、行動力がすごい」と認め合

スノーボード界に新星が現れた瞬間だった。

昨年3月、15歳で全日本選手権ハーフパイプを初制覇し、同年9月にニエージュランドで開かれたワールドカップ(W杯)開幕戦でいきなり優勝。華々しいデビューに、戸塚は「ナショナルチームで育成選手から強化選手になり、周りの目も変わった」と振り返る。その後W杯で表彰台に上がり続け、今年1月にスイスで行われたW杯で2位に入り、五輪行きを決めた。

2歳からスノーボードを始め、小学2年時からハーフパイプ競技へと。今や世界各地を転戦しており、光明相模原高に通う時間も「なかなかないですね」と苦笑いする。

突出したバランス感覚から繰り出す大技のエアに注目が集まる。縦2回転、横4回転の高難度「ダブルコック1440」の精度を高めており、平昌五輪でも披露するつもりだ。

トリノ、バンクーバー五輪の金メダル獲得などスノーボード界の生ける伝説、シヨーン・ボ

16歳 期待の新星

大技エアに注目

ワイト(米国)を戸塚は「神様」と仰ぎ見るが、その力量は肉薄してきている。

16歳で初の五輪出場にも「年



スノボHP・戸塚 優斗

温かいまなざしで子どもたちの五輪出場を見守る齋藤慧さん(左)と美奈子さん



自分のためのレースを

選択肢は与えなかった」と口をそろえる。気付けば自宅廊下に「オリンピックに行くぞ!」という大目標が張られていた。

仁美、慧とも決して恵まれた体格ではないが、諦めず継続するという



齋藤家自宅にある「オリンピックに行くぞ!」の張り紙。仁美、慧も毎日目にしながら鍛錬に励んだ

才能を両親が後押ししてきた。その原動力は「努力しているものが、いつか実ると瞬間を見たかったのかな」と美奈さんは振り返る。

銀河アリーナには、2人を応援する横断幕が掲げられている。「(冬季五輪は)北国のスポーツと思うが、リンクがあれば目指せるという夢を小さな子たちに持ってほしい」と篤さん。本番は「いろんなものを背負っていると思うが、最後には自分のためにレースを楽しんでほしい」と温かいまなざしで見守る。

とつか・ゆづと 2017年3月の全日本選手権初制覇。同年9月のワールドカップ(W杯)で初出場。勝利し、18年1月のW杯(スイス)で88・25歳で2位。今季の種目別総合優勝。光明相模原高、ヨネックス所属。168センチ、58キロ。16歳。横浜市長出身。



さいとう・ひとみ 2011年、12年の全日本選抜選手権総合優勝。17年世界選手権3000メートルリレー3位。同年12月の全日本選手権女子1000メートル優勝、総合3位。神奈川大・オーエンス。152センチ、48キロ。27歳。相模原市中央区出身。

さいとう・けい 2013、14年の世界ジュニア選手権で3000メートルリレー3位。17年9月のワールドカップ(W杯)派遣選手選考競技会で代表入り。同年12月の全日本選手権総合13位。光明相模原高・神奈川大。161センチ、55キロ。21歳。相模原市中央区出身。

